

科目名

中級日本語1-1(読解)

講義名

中級日本語1-1(読解)

クラス

担当教員

永島 恭子(非)

実務経験のある教員による講義

学年

キャンパス区分

金谷川キャンパス

開講学期

後期

開講時期

(後期)

曜日・時限

木2

科目種別

通常講義

科目区分

要卒外

単位区分

要卒外

単位数

準備事項

備考

特修プログラム

授業方法

講義、グループワーク、ICT機器の活用

講義情報**授業概要とねらい**

- ・ 様々なスタイルの読み物を読んでいくことを通して、読む力を高める。
- ・ 単に読んで情報を取るだけでなく、そこに書かれている出来事を正確に把握することに加え、書き手の気持ちや理解も推測することも期待される。

- ・ Students will develop reading skills and thinking skills by reading various kinds of materials.
- ・ In this class, we focus on not only to capture information from reading materials but also try to understand the feeling or hidden opinion of the author.

単位認定基準

- ・ 頻繁に使われる日常レベルの言語、または仕事や勉強に関係のある言語で書かれている文章を読んで理解できる。
- ・ 私信のなかに書かれているできごと、気持ち、願いなどを読んで理解できる。
- ・ 仕事、学校、余暇などでよくある、馴染みの事柄について書かれたことの要点が理解できる。
- ・ 物語や記事を読んであらすじが理解できる。

- ・ can understand texts that consist mainly of high frequency every day or job-related language.
- ・ can understand the description of events, feelings and wishes in personal letters.
- ・ can understand topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (e.g. family, hobbies, work, travel and current events).
- ・ can understand a story or relate the plot of a book or film.

授業計画

- 1) オリエンテーション
- 2) テキスト第1課①文章の構造・段落内の構造
- 3) テキスト第1課②書き言葉の文体
- 4) テキスト第2課①中心文・支持文
- 5) テキスト第2課②連用中止形

- 6) テキスト第3課①アウトライン・論理の構造・分類
 - 7) テキスト第3課②文の構造
 - 8) テキスト第4課①定義
 - 9) テキスト第4課②「こと」
 - 10) 中間まとめ
 - 11) テキスト第5課①経過
 - 12) テキスト第5課②助詞相当語
 - 13) テキスト第6課①比較・対照
 - 14) テキスト第6課②指示語
 - 15) 全体のまとめ
- * 以上は予定であり変わる可能性がある。

- 1) Orientation
 - 2) textbook, Unit1, Reading passage
 - 3) textbook, Unit1, Grammar
 - 4) textbook, Unit2, Reading passage
 - 5) textbook, Unit2, Grammar
 - 6) textbook, Unit3, Reading passage
 - 7) textbook, Unit3, Grammar
 - 8) textbook, Unit4, Reading passage
 - 9) textbook, Unit4, Grammar
 - 10) midterm exam
 - 11) textbook, Unit5, Reading passage
 - 12) textbook, Unit5, Grammar
 - 13) textbook, Unit6, Reading passage
 - 14) textbook, Unit6, Grammar
 - 15) Final exam
- * these schedules are still tentative

授業計画（週形式）

教材・教科書

『改訂版 大学・大学院留学生の日本語（1）読解編』（アルク）

参考図書

参考URL

授業外の学修、及び必要な学修時間

- ・宿題、予習、復習をしていくこと。
- ・単位制に基づき、少なくとも15時間の授業外学修時間を必要とする。

Students need to spend at least 15 hours for homework, preparation and review before and after each classes.

成績評価の方法

小テスト・提出課題（30%）、中間試験（20%）、期末試験（50%）で評価する。出席率70%以上でないと期末試験は受けられない。

quizzes and weekly assignments (30%), Midterm exam (20%), Final exam (50%)
Students cannot take the final test in case the attendance rate is lower than 70%.

成績評価の基準

- S：全ての項目において非常に優れている。
- A：全ての項目において優れている。
- B：全ての項目において「望ましい水準」に達している。
- C：一部の項目において「望ましい水準」に達していない。
- F：半分以上の項目において「望ましい水準」に達していない。

- S：Very excellent in every points.
- A：Very good in every points.
- B：Good in every points.
- C：Not good in some points.
- F：Not good in most of points

オフィスアワー

授業開始時に連絡する。

It will be announced at the beginning of the course.

授業改善・工夫

グループウェアを用いるなどして、学生に自律学習を促すとともに、授業を効率的に進める。

The class is managed effectively by using groupwear system. The system is also expected to lead students to autonomous learning .

留意点・注意事項

J-CATでの基準点の到達を受講の目安とする。

Students needs to pass the criterion score on the J-CAT test.